

## 報告事項(1) 現地調査(川場田園プラザ)の報告

1. 視察日 平成 29 年 1 月 27 日 (金) 2. 視察人数 15 名 (委員 9 名、事務局 6 名)

### 3. 目的

- ・川場村では 21 世紀を展望しながら、コミュニティー活動や世田谷区との交流事業の一層の活発化、農業を中心とした地場産業おこし、田園や自然環境に相応しい地域づくり、村の核づくりなどに重点をおきながら成熟した美しい村づくりを進めている。
- ・田園プラザ事業(道の駅)は、川場村のこうした一連の重点事業の中核的な事業で、次のような機能を持つ川場村の商業、情報、ふれあいの核であるタウンサイト(中心街区)の形成を目指している。

#### 【田園プラザ(道の駅)が持つ機能】

- ①就業機会の拡大と若者の定住促進につながる交流・交歓の場をつくる
- ②来村者と村民の交流機会を整備する
- ③村民や滞在者の購買や飲食需要に応える
- ④地場製品のPRや村内消費を促進する
- ⑤村の交通のターミナルをつくる
- ⑥利根沼田望郷ラインの開通による要衝の計画的開発を行う

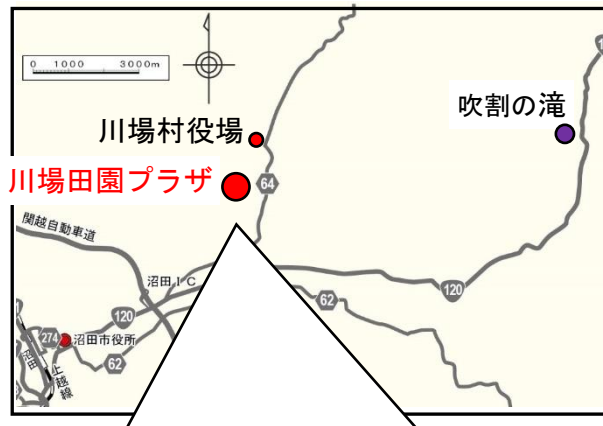
### 4. 事業期間

平成 4 年度～平成 10 年度

### 5. 事業用地

49,537m<sup>2</sup> (現況の敷地面積 6ha)

#### ■位置図



資料：川場田園プラザホームページ

## 6. 導入施設

①プラザセンター及び研修施設	602m <sup>2</sup>	②集出荷貯蔵庫	225m <sup>2</sup>
③ビール工房	853m <sup>2</sup>	④飲食店（そば）	177m <sup>2</sup>
⑤ファーマーズマーケット	317m <sup>2</sup>	⑥専門店	366m <sup>2</sup>
⑦ミルク工房	274m <sup>2</sup>	⑧公衆便所	98m <sup>2</sup>
⑨ミート工房	240m <sup>2</sup>	⑩生ゴミ処理施設	73m <sup>2</sup>
⑪駐車場第1・第2	10,897m <sup>2</sup>	⑫製品倉庫	50m <sup>2</sup>
⑬吊り橋	226m	⑭情報ポケットハウス	12箇所



①プラザセンター



①ビジターセンター



④飲食店（そば）



⑤ファーマーズマーケット



⑨ミート工房



ピザ工房

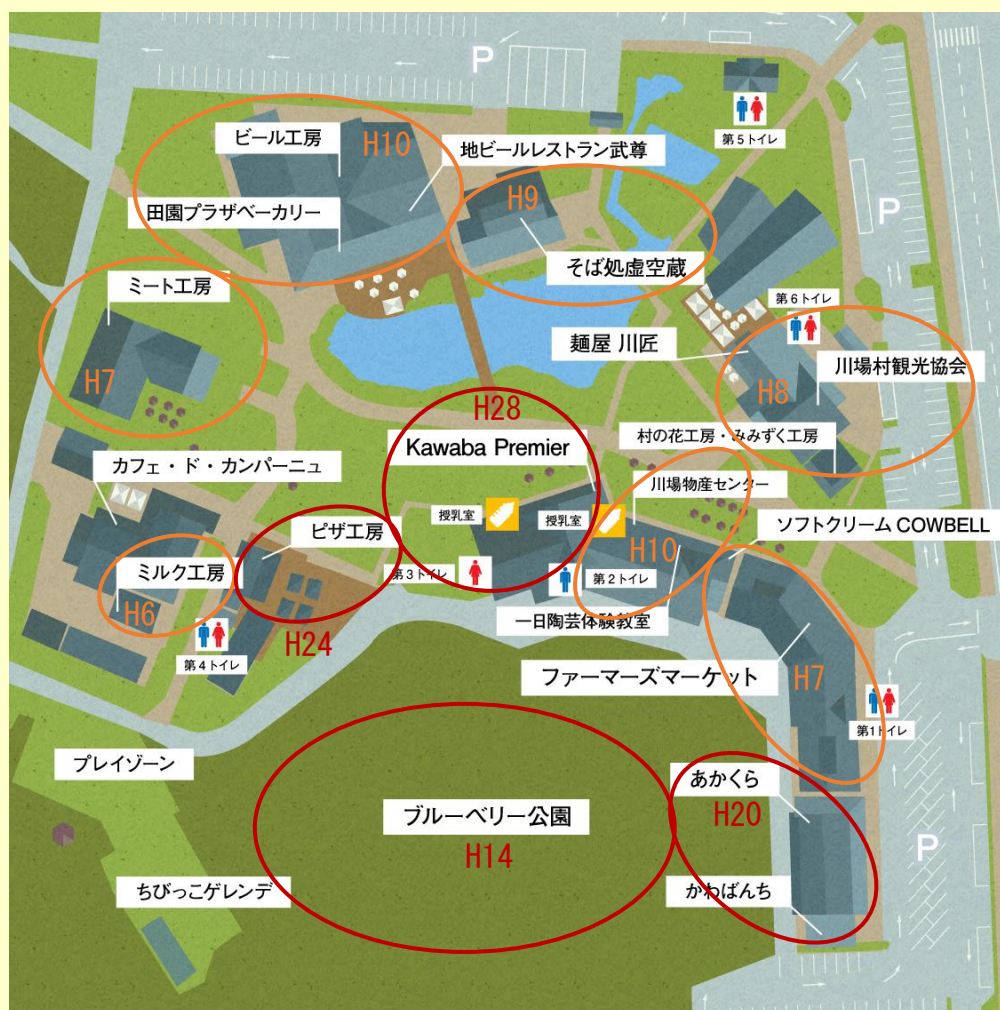
## 7. 管理主体

- ・株式会社 田園プラザ川場（第三セクター）
  - ・設立 平成5年4月1日
- ・所在地 群馬県利根郡川場村大字萩室 385 番地
- ・TEL 0278-52-3711 / FAX 0278-52-3713
- ・資本金 90,000 千円  
 (川場村：60.0% 川場リゾート(株)：11.1% 株式会社田谷川場ふるさと公社：16.6% その他7団体：12.3%)

## 8. 事業経過

- 平成元年～2年の“世田谷区民健康村第2期の運営と整備に関する指針”の検討段階で、川場村の多機能としての田園プラザの開発と、世田谷区との事業協力の必要性が提案された。
- これを受け川場村過疎計画（平成2年）、川場村総合計画（平成3年）に位置づけられ、田園プラザ推進委員会・幹事会で構想が策定された。

- 平成5年 株式会社田園プラザ川場発足
- 平成6年 ミルク工房営業運営開始
- 平成7年 ミート工房営業運転開始、ファーマーズマーケット営業開始、公衆便所完成
- 平成8年 プラザセンター、研修施設、ふれあい橋（道の駅の登録）
- 平成9年 そば処営業開始
- 平成10年 ビール工房、パン工房、レストラン、物産館営業開始（田園プラザグランドオープン）
- 平成14年 ブルーベリー館、ブルーベリーの丘、開設
- 平成20年 食事処あかくら
- 平成21年 ホテルS L業務開始（現在の名称はホテル田園プラザとなる）
- 平成24年 ピザ工房開設
- 平成28年 カワバプレミアムショップ開設



## 9. 整備効果（活力ある地域社会の形成に貢献）

- ・平成 24 年度にて設立 20 周年を迎え、田園プラザでは着実にその効果・成果を生み出している。
- ・現在でも売上金額、入場者数とも右肩上がりの成長をとげており、川場村の「農業＋観光」の基本理念を実現していくための重要な位置づけとなり、地域社会の発展に貢献している。

### ①就業機会の拡充

村内には若者が希望を持てる職場がほとんどなかった中、106 名程度の就労の場を確保することが出来た。（社員：34 名 常勤パート：62 名 非常勤パート：10 名）

### ②地場製品の PR や村内消費が促進

田園プラザ施設内に 170 万人（平成 27 年度）が訪れ消費の拡大につながっている。また、これらに喚起され村内の 農家等において新しい加工品の製造や、農産物の新品種に取り組み動きも見られ今後もさらに発展が見込まれる。

### ③村の交通ターミナル機能

村の入口にあり道の駅にも指定され多くの観光客や来村者が利用するようになった。公衆便所、電話、観光案内、休憩、買い物、食事、積雪時のチェーン脱着等の機能を備え、来村者の便宜を図っている。

関東・甲信越地方の 訪れたい“道の駅”において平成 16 年度から平成 20 年度まで 5 年連続第 1 位と道の駅の中ではトップクラスに位置づけられている。また、平成 27 年には国交省より重点「道の駅」へ指定される。

### ④新たな特産品の開発と販売促進が実現

田園プラザでは 以下の商品が開発され新たな村の特産品として販売され、農産物の消費の拡大や販売促進が図られている。

- ミルク工房…飲むヨーグルト、アイスクリーム等乳製品
- ミート工房…ハムソーセージ各種
- ビール工房…地ビール各種、アップルパイ製造
- パン工房…食パン、菓子パン、食事パン等各種、アップルパイ
- ブルーベリー館…おきりこみ（あかくら）、各種ジュース・ジャム類等販売（物産センター）
- そば処…地粉を使用した手打ちそば（減反政策、川場村産そば粉の付加価値のアップ）
- レストラン…川場産農産物を活用した料理を提供

### ⑤農地の遊休化の防止等に寄与

ファーマーズマーケットでは平成 27 年度売上げが 5 億 5 千万円を計上。現在 農産物提供者は 400 名を超え川場村の農家の半数となり農地の遊休化防止に大きな役割を果たしている。

また、会員の 多くは第一線を退いた高齢者や婦人で趣味と実益を兼ねた生きがい対策ともなっている。

### ⑥来村者と村民の交流場所の提供

施設内では 各種イベントが開催され、また、飲食店機能、インフォメーション機能も有することにより 来村者と村民の交流の場所としても利用され、村民の交歓場所としても有効に活用されている。